Kodak EasyShare V550 ズームデジタルカメラ

ユーザーガイド

www.kodak.co.jp

カメラに関するヘルプ：www.kodak.co.jp

Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650

すべての画面はハメコミ式合成です。

P/N 4J3440_ja

前面図

1 シャッターボタン

2 フラッシュボタン

3 オン／オフ

4 動画／AF アシスト／セルフタイマーライト

5 動画モードボタン

6 SCN（シーン）モードボタン

7 ポートレートモードボタン

8 AUTO（オート）モードボタン

9 ビューファインダー

10 フラッシュセンサー

11 レンズ

12 DC 入力（5V）

13 グリップ

14 フラッシュ

15 マイクロフォン

背面図

1 液晶モニター

2 広角／望遠ボタン

3 LCD／情報ボタン

4 オート／お気に入りスイッチ

5 ストラップ取り付け部

6 A/V 出力／USB 端子

7 ◀/▶ ▲/▼ **コントローラ**

8 OK ボタン

9 電池ロック

10 マクロ／遠景ボタン

11 電池挿入口

12 SD または MMC カード（別売）用スロット

13 ドックコネクタ

14 三脚ねじ穴

15 スピーカー

16 Share（シェア／共有）ボタン

17 Review（再生）ボタン

18 Menu（メニュー）ボタン

19 Delete（削除）ボタン

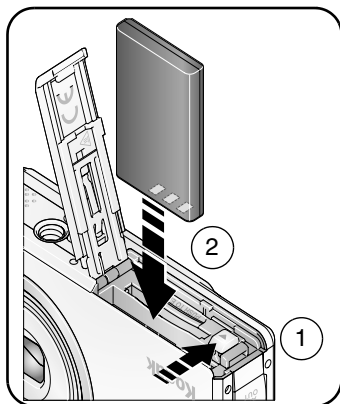
20 ビューファインダー

21 レディライト

目次

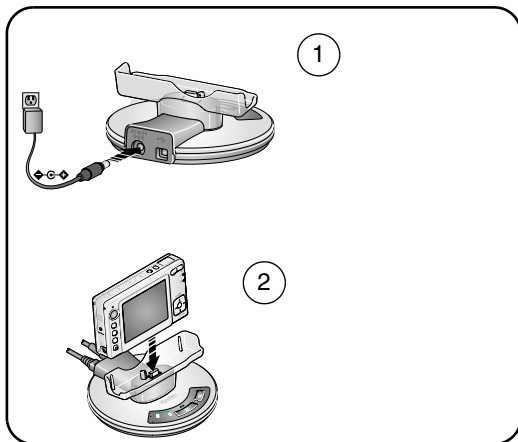
1 カメラのセットアップ

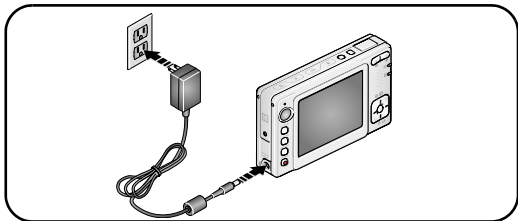
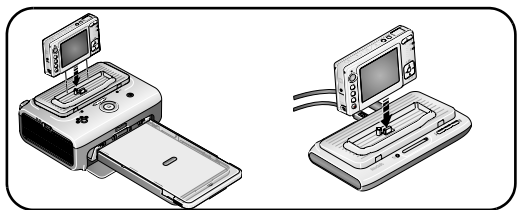
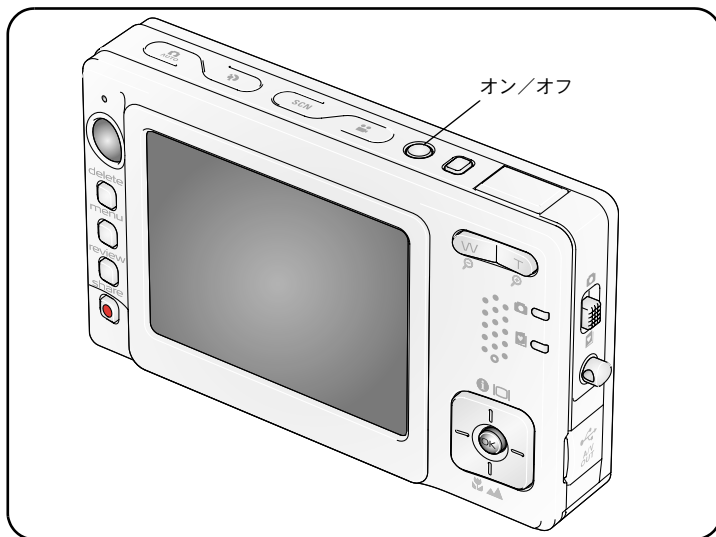
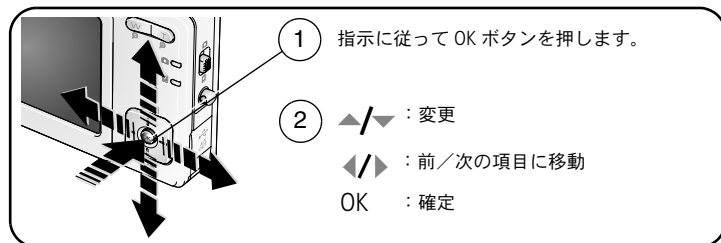
ストラップの取り付け

電池の装着

電池を交換する方法と長持ちさせる方法については、65 ページを参照してください。

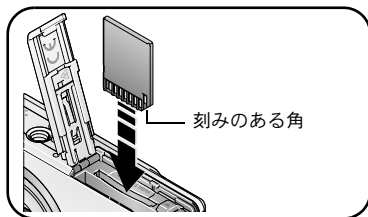
電池の充電

電池の充電は、カメラの上部にある4つのライトすべてが点灯すると完了します（約3時間）。

EasyShareフォトフレームドック2
（別売の場合があります）

5V ACアダプター
（カメラに付属しています）

重要：電池の充電と、EasyShareフォトフレーム2への電源の供給には、このACアダプターを使用してください。

EasyShareプリンタードックシリーズ3または**EasyShareカメラドックシリーズ3**
（別売の場合があります。ドックの互換性については18ページを参照）。

カメラの電源をオンにする

日付／時刻の初期設定

SD または MMC カードへの画像の保管

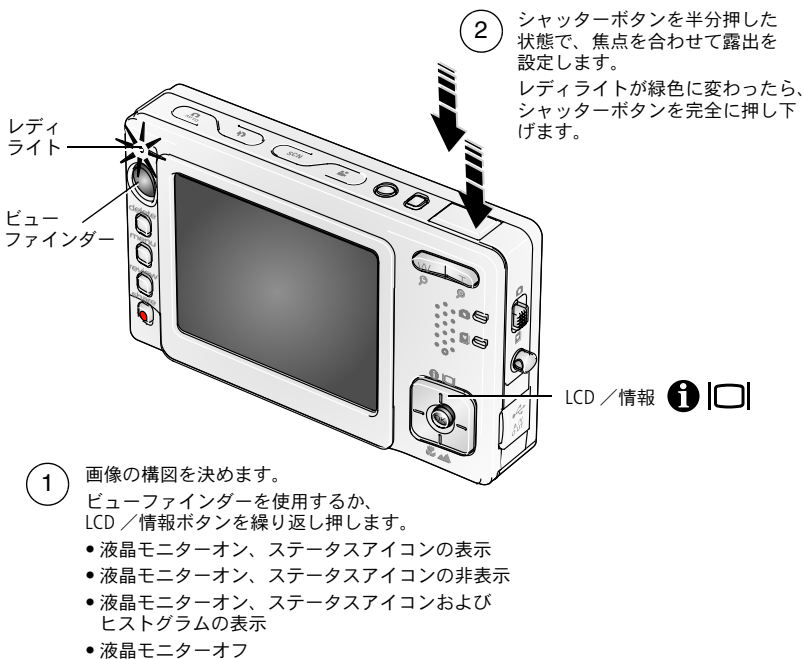
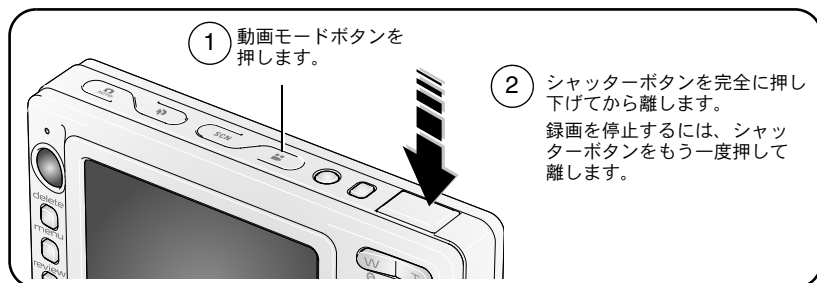
カメラには 32 MB の内蔵メモリーが搭載されています。SD または MMC カードを購入すれば、さらに多くの画像や動画を保管できます。

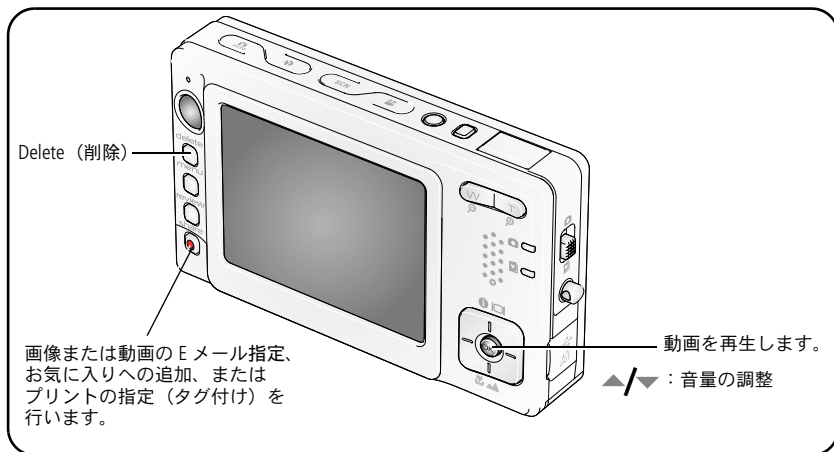
注： カードを使用する場合**は撮影する前に、使用するカメラで必ず**カードをフォーマットしてください（41 ページを参照）。

警告：

カードは正しい向きで挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。レディライトが点滅しているときはカードの挿入または取り外しを行わないでください。画像、カード、またはカメラが損傷する場合があります。

保管可能容量については、63 ページを参照してください。

2 画像と動画の撮影

画像の撮影

動画の撮影

撮影した画像または動画のクイックビュー

画像または動画を撮影した後に、液晶モニターにクイックビューが約5秒間表示されます。何もボタンを押さなかった場合は、画像または動画が保存されます。

画像や動画を再生する方法については、9ページを参照してください。

手ぶれ警告アイコンのについて

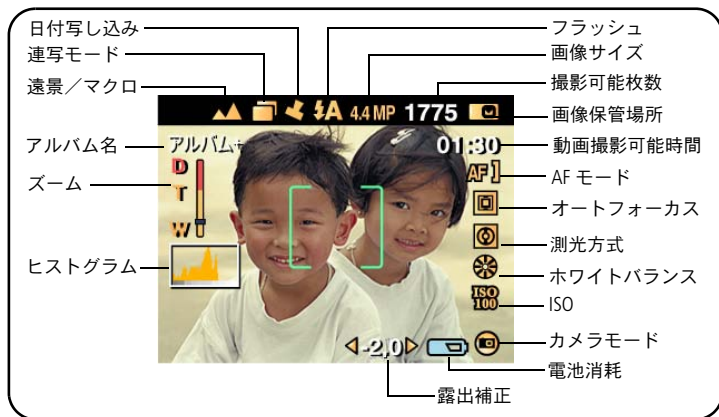
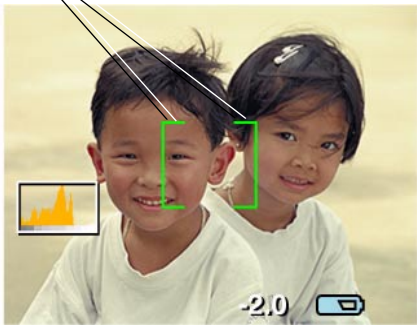
この機能がオンの場合（「手ぶれ警告」（41 ページ）を参照）、画像の手ぶれ警告アイコン がクイックビュー時に表示されます。

緑色 — 画像のシャープネスが 10 × 15 cm のプリントに十分適しています。

黄色 — 画像のシャープネスは 10 × 15 cm のプリントに十分適していると思われますが、シャープネスが確認できません（プリントする前にコンピュータのモニター上で確認してください）。

赤色 — 画像のシャープネスが十分でないので 10 × 15 cm のプリントには適していません。

白色 — プリント適正を確認中です。

撮影アイコンについて

オートフォーカスフレーミングマークの使用

カメラの液晶モニターをビューファインダーとして使用している場合は、カメラの焦点が合っている場所を示すフレーミングマークが表示されます。カメラは前にある被写体に焦点を合わせます。被写体が画面の中心にない場合も同じです。

1 シャッターボタンを**半分押した状態**にします。

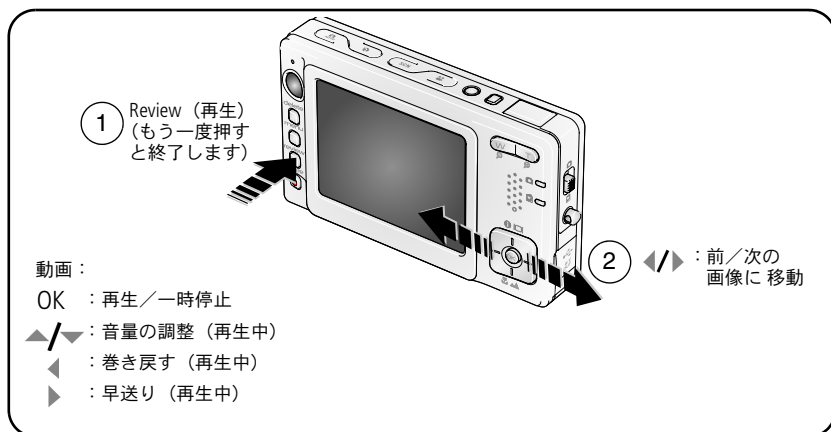
焦点が合うとフレーミングマークが緑色に変わります。

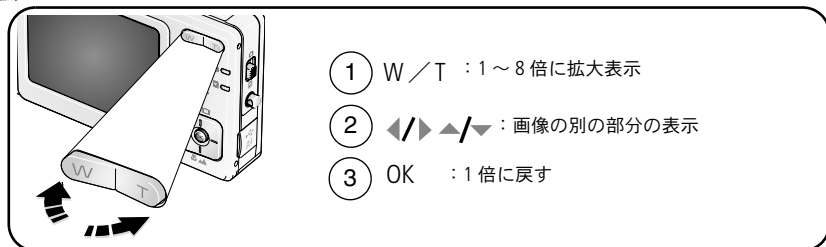
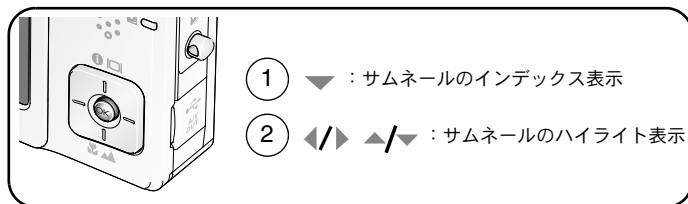
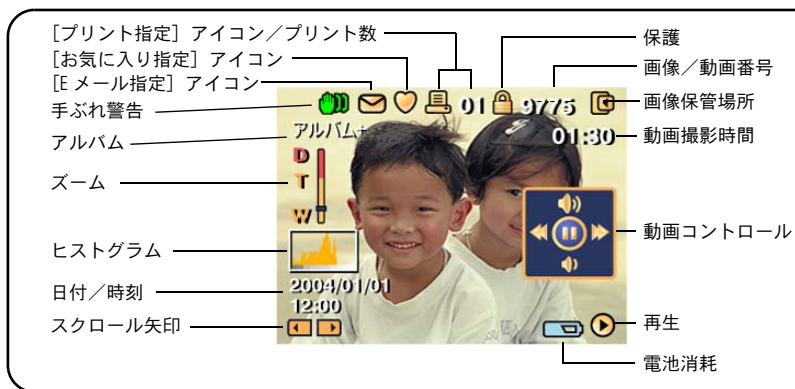
2 目的の被写体にカメラの焦点が合わない場合（またはフレーミングマークが消えている場合）は、シャッターボタンを離し、再度画面の構図を決めます。

3 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

注： フレーミングマークは遠景、**夜景**、**花火**、動画モードでは表示されません。オートフォーカスを使用して［センター AF］（37 ページ）を設定すると、フレーミングマークは中央広域に固定されます。

画像と動画の再生

Review（再生）ボタンを押すと、撮影した画像や動画を表示したり操作することができます。

注： お気に入りの画像を選択して表示する方法については、46 ページを参照してください。

再生中の画像の拡大

再生中のインデックス表示（サムネール）

再生モードのアイコンについて

手ぶれ警告について詳しくは7ページを参照してください。

画像と動画の削除

1 Review（再生）ボタンを押します。
2 前／次の画像に移動するには ◀/▶ を押します。
3 Delete（削除）ボタンを押します。
4 画面の指示に従います。

注： 保護された画像や動画を削除するには、まず保護を解除する必要があります。

5 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

画像と動画の保護

1 Review（再生）ボタンを押します。
2 前／次の画像に移動するには ◀/▶ を押します。
3 Menu（メニュー）ボタンを押します。
4 ▲/▼ を押して [画像の保護] をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

注： 画像または動画が保護され、削除できなくなります。保護された画像または動画の横に画像の保護アイコン 🔒 が表示されます。

5 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

警告：

内蔵メモリーまたはSDまたはMMCカードをフォーマットすると、保護されたものを含むすべての画像と動画が削除されます（内蔵メモリーをフォーマットすると、Eメールアドレス、アルバム名、およびお気に入りも削除されます。それらを復元する方法については、EasyShareソフトウェアのヘルプを参照してください）。

3 画像の転送およびプリント

警告：

Kodak EasyShare ソフトウェアは、EasyShare カメラまたはドックをコンピュータに接続する前にインストールしてください。接続してからインストールすると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

ソフトウェアのインストール

1 コンピュータで開いているすべてのアプリケーション（ウイルス対策ソフトウェアを含む）を閉じます。

2 Kodak EasyShare ソフトウェア CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 ソフトウェアをインストールします。

Windows — インストールウィンドウが表示されない場合は、［スタート］ボタンメニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「**d:¥setup.exe**」と入力します。**d** は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。

Mac OS X — デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、インストールアイコンをクリックします。

4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

Windows — アプリケーションを自動的にインストールする場合は、［標準］を選択します。インストールするアプリケーションを選択する場合は、［カスタム］を選択します。

Mac OS X — 画面の指示に従います。

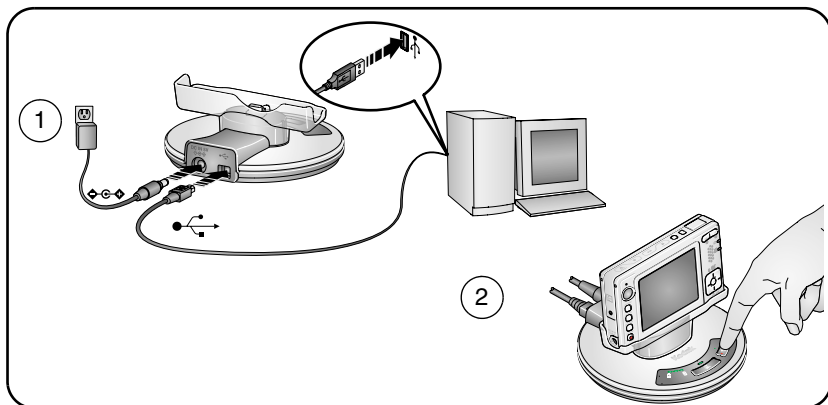
注： ユーザー登録画面が表示されたら、カメラとソフトウェアの登録を行ってください。登録処理では、お使いのシステムを最新の状態に保つための情報を入力します。後で登録する場合は www.kodak.co.jp/go/register にアクセスしてください。

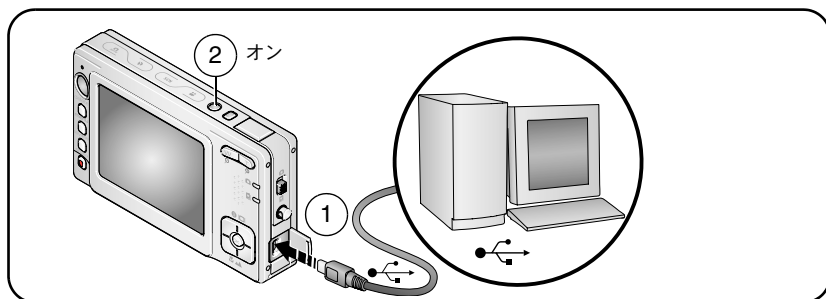
Kodak EasyShareソフトウェアCDに収録されているソフトウェアアプリケーションについての情報を参照するには、EasyShareソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

フォトフレームドック2を使用した画像の転送

パッケージには、EasyShareフォトフレームドック2が同梱されている場合があります（詳しくはwww.kodak.co.jpでご確認ください）。

1. **カメラインサートを取り付け電源を差込み、コンピューターとUSBケーブルで接続します。（コンピューターにはKodak EasyShareソフトウェアを接続前にインストールしておいてください）**
2. **カメラをセットし、転送ボタン を押します。**
3. **コンピューターとの接続が行われます。Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、カメラの画像をコンピュータに転送します。**
   詳しくは ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

   画像の転送中は、転送ボタン上のLEDが点滅します。

USB ケーブルを使用した画像の転送

パッケージに EasyShare フォトフレームドック 2 が同梱されていない場合は、USB ケーブルを使用して画像の転送を行ってください。

注： 接続に関するオンラインチュートリアルについては、www.kodak.com/go/howto を参照してください。

転送に使用可能なその他の製品

画像および動画の転送には、次の Kodak 製品も使用できます。

- Kodak EasyShare カメラドックシリーズ 3 またはプリンタードックシリーズ 3（18 ページを参照）

詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

画像のプリント

EasyShare プリンタードックシリーズ 3 を使用したプリント

カメラを Kodak EasyShare プリンタードックシリーズ 3 に装着すれば、コンピュータを使用せずにプリントできます。詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

ドックの互換性については 18 ページを参照してください。

PictBridge 対応プリンターでのダイレクトプリント

このカメラは PictBridge テクノロジに対応しており、PictBridge 対応プリンターでのダイレクトプリントが可能です。ダイレクトプリントには次のものが必要です。

- フル充電済みのカメラ
- PictBridge 対応プリンター
- カメラ付属の USB ケーブル

PictBridge 対応プリンターへのカメラの接続

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 適切な USB ケーブルを使用してカメラとプリンターを接続します。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。

PictBridge 対応プリンターからのプリント

1 プリンターの電源をオンにします。カメラの電源をオンにします。

PictBridge ロゴが表示された後、現在の画像とメニューが表示されます（画像が見つからない場合はそのことを知らせるメッセージが表示されます）。メニュー表示が消えた場合は、いずれかのボタンを押すと再び表示されます。

2 ▲/▼ を押してプリントオプションを選択し、OK ボタンを押します。

現在の画像 — ◀/▶ を押して画像を選択します。プリント数を選択します。

指定した画像 — お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリントする画像を**指定**して、プリントサイズを選択します。

インデックスプリント — すべての画像のサムネールをプリントします（インデックスプリントには用紙が複数枚必要になります）。お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリントサイズを選択します。

全ての画像 — 内蔵メモリー、カード、またはお気に入りに保管されているすべての画像をプリントします。プリント数を選択します。

画像保管場所 —内蔵メモリー、カード、またはお気に入りにアクセスします。

注： ダイレクトプリントでは、画像はコンピュータまたはプリンターに転送または保存されません。画像をコンピュータに転送する方法については、12 ページを参照してください。お気に入りモードでは、現在のお気に入り画像が表示されます。

PictBridge 対応プリンターからのカメラの取り外し

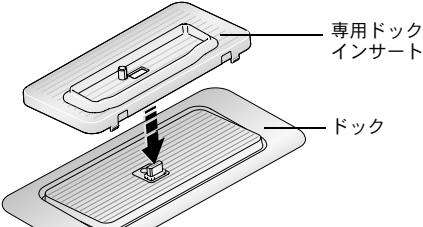
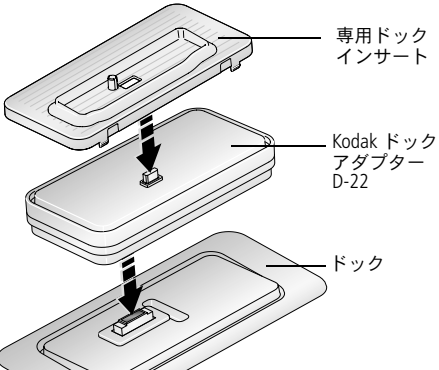
1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 カメラとプリンターから USB ケーブルを抜きます。

PictBridge 非対応プリンターの使用

コンピュータに保存されている画像をプリントする場合は、EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

プリントのオンラインオーダー

Kodak EasyShare Gallery（www.kodakgallery.com）は、EasyShare ソフトウェアで提供されているオンラインプリントサービスの 1 つです。次のような処理を簡単に行うことができます。
（**Kodak EasyShare Galleryの日本でのサービス開始時期は未定です。**）

- 画像のアップロード
- 画像の編集、拡張、枠の追加
- 画像の保管、家族や友人との共有
- 画像のプリントオーダー

SD または MMC カードに保存されている画像のプリント

- SD/MMC カードスロット付きのプリンターにカードを挿入し、**プリント指定**された画像を自動的にプリントすることもできます。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。
- 最寄りの写真店にカードを持って行き、プリントをオーダーすることもできます。

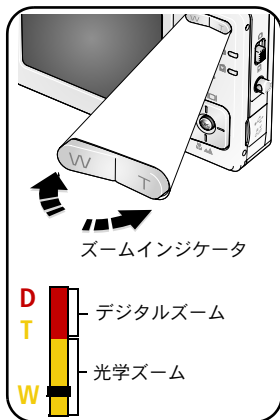
カメラとドックの互換性

ドック	ドック構成
■ EasyShare フォトフレーム ドック 2	「フォトフレームドック 2 を使用した画像の転送」（13 ページ）を参照してください。
■ Kodak EasyShare プリンタードックシリーズ 3 および EasyShare カメラドックシリーズ 3 ■ **プリンタードック (PD-26)**	専用ドックインサート ドック
Kodak EasyShare： ■ プリンタードック（PD-22） ■ プリンタードック プラス ■ プリンタードック 6000 ■ カメラドック 6000	専用ドックインサート Kodak ドックアダプター D-22 ドック
その他のドック： ■ EasyShare プリンタードック 4000 ■ EasyShare カメラドック II ■ EasyShare LS420、LS443 カメラドック	対応していません。

詳しくは、www.kodak.co.jp でご確認ください。

4 カメラのさまざまな利用方法

光学ズームの使用

光学ズームを使用すると、被写体を 3 倍まで拡大できます。

1 ビューファインダーまたは液晶モニターを使用して、被写体を捉えます。

2 拡大するには望遠（T）を押します。縮小するには広角（W）を押します。

液晶モニターがオンになっている場合、ズームインジケータはズーム状況を示します。

3 画像**または動画**を撮影します。

注： フォーカス範囲については58 ページを参照してください。

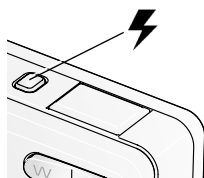
デジタルズームの使用

デジタルズームを使用すると、任意の静止画モードで、光学ズームよりさらに 4 倍まで拡大することができます。

1 望遠（T）を押して、光学ズームの限度（3 倍）まで拡大します。ボタンを離してからもう一度押します。

2 画像を撮影します。

注： デジタルズームは動画の録画には使用できません。デジタルズームを使用すると、画質が低下する場合があります。画質が 10 × 15 cm のプリントで適切な画質を得られる限度に達すると、ズームインジケータ上のスライダが赤色に変わります。

フラッシュ設定の変更

フラッシュモードを**変更**するには、
フラッシュボタンを繰り返し押します。

現在使用中のフラッシュモード設定は
液晶モニターのステータス領域に表示
されます。

<table>
<tr><th>フラッシュモード</th><th colspan="2">フラッシュの発光</th></tr>
<tr><td>オート発光</td><td colspan="2">フラッシュが必要な明るさの場合に自動的に発光します。</td></tr>
<tr><td>強制発光</td><td colspan="2">明るさに関係なく、撮影するたびに必ず発光します。被写体が暗い場合や「逆光」の場合（光が被写体の後ろにある場合）に使用します。暗い場所では、カメラをしっかり構えるか、三脚を使用します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤目軽減発光</td><td>赤目軽減プレ発光機能がオフの場合：
■ フラッシュが一度発光します。
■ その後でカメラが自動的に画像の赤目補正を行います。</td><td>赤目軽減プレ発光機能がオンの場合：
■ 目がフラッシュに慣れるように一度発光し、撮影時にもう一度発光します。
■ その後でカメラが自動的に画像の赤目補正を行います。</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤目軽減プレ発光機能のオン／オフについては「赤目軽減プレ発光」（40 ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td colspan="2">発光しません。</td></tr>
</table>

各モードでのフラッシュ設定については、61 ページを参照してください。

フラッシュモードが赤目軽減発光モードの時のみ、カメラが画像の赤目補正を行います。

撮影モード

被写体と撮影条件に合うモードを選択します（フラッシュの有効範囲については59 ページを参照）。

使用するモード	モードの説明
AUTO オート	通常の撮影に使用し、簡単な操作で優れた画質を実現できます。
ポートレート	人物の撮影に適しています。被写体がシャープになり、背景が**ぼやけ**ます。最高の画質を得るためには、被写体から 2 m 以上離れて、肩より上の部分を撮影します。望遠を使用するとさらに背景が**ぼやけ**ます。
SCN シーン	特定の条件下で、手軽に状況に合わせて撮影を行うことができます（シーンモードを参照）。
動画	音声付きの動画を撮影できます（6 ページを参照）。

ボタンを押してモードを選択します。

AUTO SCN ON|OFF

使用するモード	モードの説明
遠景	遠距離の風景の撮影に適しています。この設定の場合は、無限遠オートフォーカスが使用されます。遠景ではオートフォーカスフレーミングマークは使用できません。
マクロ	非常に近い距離にある被写体に適しています。フラッシュはできるだけ使わずに自然光を利用してください。ズームの位置に応じて撮影距離が自動的に設定されます。
液晶モニターのステータス領域にマクロまたは遠景アイコンが表示されるまで押し続けます。	

シーンモード

1 シーン SCN ボタンを押します。

2 ◀/▶、▲/▼ を押して、シーンモードの説明を表示します。

注： ヘルプテキストがオフになっている場合は、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを押して、シーンモードを選択します。

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	夜景	遠距離の夜景の撮影に適しています。フラッシュは点灯しません。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	無限遠フォーカス、中央重点測光、昼光ホワイトバランス、フラッシュオフ、最大シャッタースピード 2 秒
	夜景ポートレート	夜景または光の弱い状態での人物の撮影時に赤目を軽減します。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	マルチ測光、マルチ AF、赤目軽減発光
	スポーツ	動きのある被写体に適しています。	速いシャッタースピード、マルチ測光
	スノー	雪景色の撮影に適しています。	中央重点測光、マルチ AF、露出補正 +1
	ビーチ	砂浜での撮影に適しています。	中央重点測光、昼光ホワイトバランス、露出補正 +1
	パーティー	室内での人物の撮影に適しています。赤目を軽減します。	マルチ測光、マルチ AF、赤目軽減発光

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	セルフポートレート	自分自身のクローズアップ撮影に適しています。焦点を適切に合わせ、赤目を軽減します。	マクロフォーカス、マルチ測光、マルチ AF、赤目軽減発光
	マナー / 美術館	結婚式や講義など、静かな場所での使用に適しています。フラッシュとサウンドは使用できません。	サウンド**オフ**、フラッシュ**オフ**、マルチ測光、マルチ AF
	花火	フラッシュは点灯しません。安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用します。	露出 2 秒、無限遠フォーカス、中央重点測光、昼光ホワイトバランス
	逆光	逆光（被写体の後ろに光源がある状態）での撮影に適しています。	マルチ測光、マルチ AF、強制発光
	フラワー	花や小さい被写体のマクロ撮影に適しています。	マクロフォーカス、昼光ホワイトバランス、センター AF、中央重点測光
	チャイルド	動きのある子供たちの撮影に適しています。	マルチ測光、マルチ AF

使用する SCN（シーン）モード		モードの説明	プリセット値
	流し撮り	動きの速い被写体の撮影に適しています。被写体を固定し、背景のみが動いて見えるように撮影します。	シャッタースピード 1/180 秒未満、マルチ AF、マルチ測光
	キャンドルライト	キャンドルライトの下での撮影に適しています。	マルチ測光、マルチ AF、昼光ホワイトバランス
	サンセット	夕暮れ時の撮影に適しています。	マルチ測光、マルチ AF、昼光ホワイトバランス
	カスタム	独自の設定で撮影できます。	カメラの電源をオフにした後も設定は保持されます***1（設定を戻すには** 38 **ページを参照)**
	書類	書類の撮影に適しています。	マクロフォーカス、中央重点測光、マルチ AF、露出補正 +1

SCN (シーン) モードのプリセット値はカスタムモード以外では変更できません。

***1 フラッシュの設定は保持されません。各モードのフラッシュの設定については、61ページを参照してください。**

スライドショーの実行

スライドショーを使用すると、複数の画像や動画を次から次へと表示することができます。

注： EasyShare フォトフレームドック 2 をお持ちの場合は、27 ページを参照してください。

スライドショーの開始

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ▲/▼ を押して［スライドショー］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3 ▲/▼ を押して［開始］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

各画像と動画は、1 回ずつ表示されます。

スライドショーを中止するには OK ボタンを押します。

スライドショーの表示間隔の変更

各画像の表示間隔の出荷時設定は 5 秒間です。表示間隔を 3 ～ 60 秒に設定することができます。

1 ［スライドショー］メニューで ▲/▼ を押して［間隔］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
2 表示間隔を選択します。

秒数をすばやく**変更**するには ▲/▼ を押したままにします。

3 OK ボタンを押します。

間隔の設定は、設定を変更するまで有効です。

スライドショーの繰り返し再生

［繰り返し］をオンにすると、スライドショーが何度も繰り返されます。

1 ［スライドショー］メニューで ▲/▼ を押して［繰り返し］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
2 ▲/▼ を押して［オン］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

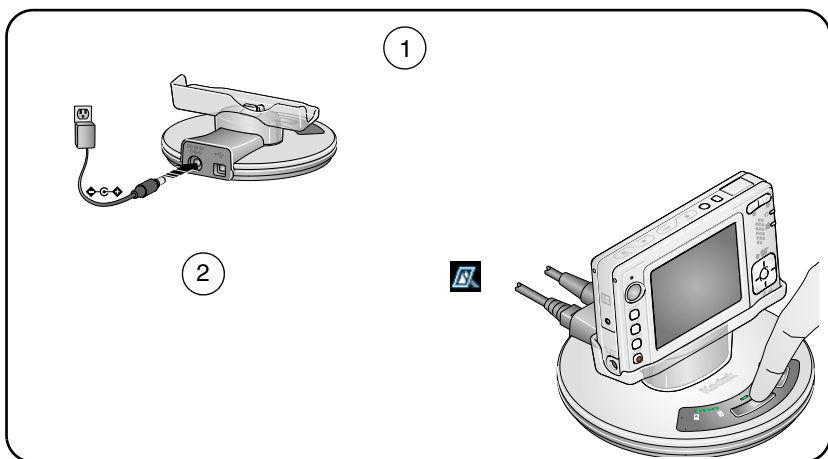
スライドショーは、OK ボタンを押すか、電池が切れるまで繰り返されます。［繰り返し］機能は、設定を変更するまで有効です。

スライドショーの表示方法の選択

1 ［スライドショー］メニューで ▲/▼ を押して［表示方法］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押して表示方法をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

EasyShare フォトフレームドックを使用したスライドショーの実行

パッケージには、EasyShare フォトフレームドック 2 が同梱されている場合があります（詳しくは www.kodak.co.jp でご確認ください）。

フォトフレームドック2の表示設定については、40ページを参照してください。
スライドショー動作中は、カメラの電池の充電は行われません。

画像と動画のテレビでの再生

A/Vケーブルを使用して、テレビ、コンピュータのモニター、
またはビデオ入力のある任意の機器に画像と動画を再生することができます（テレビ画面上では、コンピュータのモニター上やプリント時よりも画質が低下する場合があります）。

注： ［ビデオ出力］の設定（NTSC または PAL）が正しいことを確認します（40 ページを参照）。

1 **A/V** ケーブル（別売の場合があります）を、カメラの A/V 出力／USB ポートからテレビのビデオ入力ポート（黄色）とオーディオ入力ポート（白）に接続します。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

2 **画像と動画をテレビに表示します。**

カメラのA/V出力／USBポートにA/V ケーブルを差し込むとカメラの液晶モニターには画像やメニューは表示されません。

画像のトリミング

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 前／次の画像に移動するには ◀/▶ を押します。

3 Menu（メニュー）ボタンを押して［トリミング］　をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

4 拡大するには望遠（T）を押し、トリミングボックスを移動するには ◀/▶ ▲/▼ を押します。

5 画面の指示に従います。

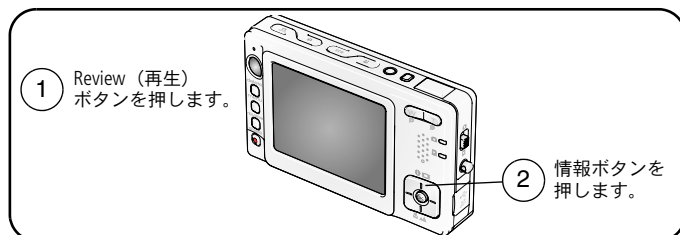
注： 画像はコピーされてからトリミングされます。元の画像も保存されます。

6 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

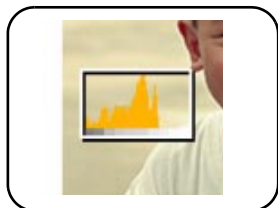
動画からの静止画の作成

1 Review（再生）ボタンを押します。
2 ◀/▶ を押して動画を選択します
3 Menu（メニュー）ボタンを押して［静止画作成］⊞ を選択し、OK ボタンを押します。
4 画面の指示に従います。

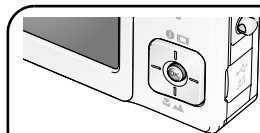
 注： 動画サイズが 640 x 480 の場合のみ静止画が作成されます。
5 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

画像情報／動画情報の表示

再生モードを終了するには Review（再生）ボタンを押します。

ヒストグラムを使用した画像の明るさの表示

ヒストグラムは被写体の明るさ分布を示します。ピークがグラフの右端にある場合は被写体が明るすぎることを示します。逆に左端にある場合は被写体が暗すぎることを示します。ヒストグラムの中央部分にピークがある場合に、露出が最適になります。

撮影モードまたは再生モードでヒストグラムをオンにするには、ヒストグラムが表示されるまでLCD／情報ボタンを押し続けます。

露出補正を使用した画像の明るさの調整

露出補正を調整すると、画像を暗くしたり明るくしたりできます。

：露出補正の値を増やす

：露出補正の値を減らす

画像と動画のコピー

画像や動画をカードから内蔵メモリーにコピーしたり、内蔵メモリーからカードにコピーすることができます。

コピーする前の確認事項

- カードがカメラに装着されていることを確認します。
- カメラの画像保管場所が、**コピー元**の場所に設定されていることを確認します。「画像保管場所」（38 ページ）を参照してください。

画像または動画をコピーする方法

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押して［コピー］ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押して次のオプションをハイライト表示します。

4 OK ボタンを押します。

注： 画像と動画は移動ではなくコピーされます。コピーした後に画像や動画を元の場所から削除するには、それらを削除します（11 ページを参照）。

プリント、E メール、またはお気に入り用に行った指定や、保護の設定はコピーされません。画像または動画に保護の設定を適用する方法については、11 ページを参照してください。

撮影設定の変更

最高の撮影結果が得られるように、設定を変更することができます。（モードによっては使用できない設定もあります）。

1 Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押して設定をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 設定値を選択して OK ボタンを押します。

4 終了するにはMenu（メニュー）ボタンを押します。

設定	アイコン	設定値／内容
セルフタイマー シャッターボタンを押してから10秒後に撮影されます（平らな場所または三脚の上にカメラを置いてください）。		**オフ（出荷時設定）** **オン** シャッターボタンを**半分**押し下げてから、**完全に**押し下げます。 動画の場合も手順は同じですが、シャッターボタンは完全に押し下げてください。 **注：** 録画は保管場所がいっぱいになると停止します。
連写 シャッターボタンが押されている間に最大5枚（3コマ／秒）の画像が撮影されます。 **この設定はモードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**オフ（出荷時設定）** **オン** シャッターボタンを**半分**押し下げてから、**完全に**押し下げて撮影します。 **シャッターボタンを離すか、制限枚数の画像が撮影されるか、保管場所がいっぱいになると撮影が停止します。** クイックビューの表示中は、連写した一連の画像すべてを削除できます。(**11ページを参照**) **ポートレート、逆光、花火、夜景、夜景ポートレートの各モードおよびフラッシュは使用できません。**

設定	アイコン	設定値／内容
画像サイズ 画像の解像度を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	★	**5.0 MP（出荷時設定）—** 51 × 76 cm までのプリントに適しています。最高の解像度が適用され、ファイルサイズは最も大きくなります。 **4.4 MP（3:2）—** トリミングなしの 10 × 15 cm のプリントに適しています。51 × 76 cm までのプリントにも適しています。 **4.0 MP —** 51 × 76 cm までのプリントに適しています。中程度の解像度が適用され、ファイルサイズは小さくなります。 **3.1 MP —** 28 × 36 cm までのプリントに適しています。中程度の解像度が適用され、ファイルサイズは小さくなります。 **1.8 MP —** 10 × 15 cm のプリントに適しています。E メール、インターネット、画面での表示、または保管場所を節約することができます。
動画サイズ 動画の解像度を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	★	**640 × 480（出荷時設定）** **320 × 240**

設定	アイコン	設定値／内容
ホワイトバランス ライティング条件を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**オート（出荷時設定）—** ホワイトバランスを自動的に補正します。一般的な撮影に適しています。 **昼光 —** 自然光の画像を撮影します。 **白熱灯 —** 屋内の電球のオレンジ色の光を補正します。屋内の白熱灯またはハロゲンライトの下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **蛍光灯 —** 蛍光灯の緑色の光を補正します。屋内の蛍光灯の下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **晴天日陰 —** 自然光を利用した日陰での撮影に使用します。 オート、**シーンのカスタムモードで使用可能**です。
ISO 感度 カメラセンサーの感度を制御します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**	**ISO**	**オート（出荷時設定）** **ISO 80、100、200、400**（800 は画質が 1.8 MP の場合にのみ使用可能）

設定	アイコン	設定値／内容
カラーモード 色調を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**ヴィヴィッドカラー** **ナチュラルカラー（出荷時設定）** **シックカラー** **白黒** **セピア —** 赤みがかった茶色のアンティークな雰囲気の画像を撮影します。 **注：** EasyShare ソフトウェアを使用して、カラーの画像を白黒やセピアに変更することもできます。 動画モードでは使用できません。
シャープネス 画像のシャープネスを制御します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**シャープ** **標準（出荷時設定）** **ソフト** **オートモードで行った設定は、モードを変更するか電源をオフにするまで有効です。**

設定	アイコン	設定値／内容
測光方式 シーンの特定の領域で光のレベルを測定します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**	(◦)	**マルチ測光（出荷時設定）—** 画像全体のライティング条件を測定し、画像に最適な露出に設定します。一般的な撮影に適しています。 **中央重点測光 —** ビューファインダーの中央に配置された被写体のライティング条件を測定します。逆光を受けている被写体に適しています。 **スポット測光 —** 中央重点測光に似ていますが、ビューファインダーの中央に配置された被写体の小さな領域を中心として測定される点が異なります 画像内の特定の領域の露出を正確に設定する必要がある場合に適しています。
AF コントロール オートフォーカス設定を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**	AF))	**コンティニュアス AF —** カメラの焦点は常に合っているので、シャッターボタンを半分押した状態で焦点を合わせる必要はありません。 **シングル AF（出荷時設定）—** シャッターボタンを半分押した状態で、外部測距センサーと TTL-AF を使用し焦点を合わせます。 **注：** 動画モードでは、［コンティニュアス AF］または［オフ］になります。

設定	アイコン	設定値／内容
オートフォーカス 大きな領域または密集した領域に焦点を合わせます。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です**	[ ]	**マルチ AF（出荷時設定）—** 3つのゾーンを測定して中間的な焦点を設定します。一般的な撮影に適しています。 **センター AF —** 撮影領域の中央を測定して焦点を設定します。画像内の特定の領域に正確に焦点を合わせる必要がある場合に適しています。 **注：** 遠景モードを使用する場合に高品質の画像を撮影するには、カメラをマルチ AF に設定します。
長時間露出 シャッターを開いたままにしておく時間を選択します。	LT	**オフ（出荷時設定）、0.5 秒、0.7 秒、1 秒、1.5秒、2秒、3秒、4 秒、6 秒、8 秒**
アルバム設定 アルバムの名前を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。動画と画像にそれぞれ別のアルバム設定を適用することができます。**		**オフ（出荷時設定）** **オン** 画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択します。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。42 ページを参照してください。

設定	アイコン	設定値／内容
画像保管場所 画像と動画の保管場所を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**オート（出荷時設定）—** カメラにカードが装着されている場合はカードを使用します。カードが装着されていない場合は内蔵メモリーを使用します。 **内蔵メモリー —** カードが装着されている場合でも常に内蔵メモリーを使用します。
デフォルトにリセット		撮影の全設定を出荷時設定に戻します。 シーン**の**カスタムモードでのみ使用可能です。
動画撮影時間 動画撮影時間を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**連続（出荷時設定）** **5 秒** **15 秒** **30 秒** 動画モードで使用可能です。
手ぶれ補正 動画の手ぶれを補正します。		**オン（出荷時設定）** **オフ** 動画モードで使用可能です。
設定メニュー その他の設定を選択します。		カメラのカスタマイズを参照してください。

カメラのカスタマイズ

［設定］を使用してカメラの設定をカスタマイズします。

1 任意のモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ▲/▼を押して［設定］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
3 ▲/▼を押して変更する設定をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
4 設定値を選択して OK ボタンを押します。
5 終了するには Menu（メニュー）ボタンを押します。

設定	アイコン	設定値／内容
カメラ操作音 サウンド効果を選択します。		**テーマ —** すべての機能に同じサウンド効果を適用します。 **個別設定 —** 各機能のサウンド効果を選択します。
音量		**オフ** **低** **中 （出荷時設定）** **シャープ**
LCD 減光 何も操作がなかった場合に、液晶モニター**の輝度を減光する**までの時間を選択します。		**なし** **30秒** **20秒** **10秒 （出荷時設定）**
電源自動オフ 何も操作がなかった場合に、カメラの電源をオフにするまでの待機時間を選択します。		**10 分** **5 分** **3 分 （出荷時設定）** **1 分**
日付／時刻		3 ページを参照してください。

設定	アイコン	設定値／内容
ビデオ出力 カメラをテレビなどの外部の機器に接続できるように、地域の設定を選択します。		**NTSC（出荷時設定）—** 北米と日本で使用される最も一般的な形式です。 **PAL —** ヨーロッパと中国で使用されます。
フォトフレーム EasyShare フォトフレームドック 2 の設定を選択します。		**間隔**（スライドショーフレームの表示間隔） **繰り返し**（オン／オフ） **表示方法**（スライドショーフレームの表示方法） **表示画像**（オート／**内蔵メモリ**／お気に入り） **実行時間（スライドショーの時間）**
縦横補正 上下が正しく表示されるように画像の向きを設定します。		**オン（出荷時設定）** **オフ** **転送時オン —** 液晶モニター上での縦横補正をオフにします。画像をコンピュータに転送したときに、向きを正しく調整します。
赤目軽減プレ発光 撮影する前に赤目軽減発光フラッシュ**をプレ発光させる**場合に選択します。 **注：** 赤目軽減プレ発光機能がオフの場合でもカメラが画像の赤目を自動的に補正します。		**オン — 撮影する前に赤目軽減発光フラッシュがプレ発光します。** **オフ（出荷時設定）—** **撮影する前に赤目軽減発光フラッシュがプレ発光しません。**

設定	アイコン	設定値／内容
日付写し込み 画像に日付を表示します。		日付写し込みのオン／オフや日付の表示形式を選択します（出荷時設定は［オフ］です）。
動画の日付表示 動画の再生の最初に日付／時刻を表示します。		**オン（出荷時設定）—** 日付表示形式を選択します。 **オフ**
手ぶれ警告 7ページを参照ください。		**オン（出荷時設定）** **オフ**
言語		**使用する言語を選択します。**
フォーマット **警告：** **フォーマットを行うと、保護されているものを含むすべての画像と動画が削除されます。フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損する場合があります。**		**メモリーカード —** カードの内容をすべて削除し、カードをフォーマットします。 **やめる — フォーマットせずに終了します。** **内蔵メモリー —** Eメールアドレス、アルバム名、お気に入りを含む内蔵メモリーの内容をすべて削除し、内蔵メモリーをフォーマットします。
カメラ情報 カメラの情報を表示します。		
動画プリント **動画撮影後、自動的に9分割のインデックス画像を作成します。この機能を十分に使うには、4.5秒以上の動画撮影を行ってください。**		**オン （出荷時設定）** **オフ**

アルバム名の事前設定

アルバム設定（静止画または動画）機能を使うと、画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択することができます。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。

1. コンピュータでの操作

このカメラに付属の EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成します 次にカメラをコンピュータに接続したときに、最大 32 個のアルバム名をアルバム名のリストにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 任意のモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 ▲/▼ を押して［アルバム設定］ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押してアルバム名をハイライト表示し、OK ボタンを押します。
手順を繰り返して、画像または動画のアルバムを指定します。

選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

4 ［終了］をハイライト表示して OK ボタンを押します。

選択した内容が保存されます。液晶モニターをオンにしている場合は、アルバムの選択状況が画面に表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムが選択されていることを示します。

5 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、EasyShare ソフトウェアによって画像が開かれ、適切なアルバムに分類されます。詳しくは、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像または動画のアルバムの指定

再生モードでアルバム機能を使用すると、カメラ内の画像や動画のアルバム名を指定（タグ付け）することができます。

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成し、最大 32 個のアルバム名をカメラの内蔵メモリーにコピーできます。

2. カメラでの操作

1 Review（再生）ボタンを押し、画像または動画を選択します。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

3 ▲/▼ を押して［アルバム］を ハイライト表示し、OK ボタンを押します。

4 ▲/▼ を押してアルバムフォルダをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

同じアルバムに他の画像を追加するには、◀/▶ を押して画像を**選択**します。追加する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

複数のアルバムに画像を追加するには、各アルバムについて手順 4 を繰り返します。

画像の横にアルバム名が表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムに画像が追加されていることを示します。

アルバムの選択を解除するには、アルバム名をハイライト表示して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、EasyShare ソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムフォルダに分類されます。詳しくは、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

画像の共有

Share（シェア／共有）ボタンを押して画像や動画**を指定し**ます。画像や動画をコンピュータに転送すると共有することができます。次のタイミングで、Share（シェア／共有）ボタンを押して画像や動画**を指定し**ます。

- 常時（最後に撮影した画像または動画が表示されます）。
- 画像や動画の撮影直後のクイックビュー時（6 ページを参照）。
- Review（再生）ボタンを押した後（9 ページを参照）。

プリントする画像の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶ を押して画像を選択します。

2 ▲/▼ を押して［プリント指定］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。*

3 ▲/▼ を押してプリント数（0～99）を選択します。0 を選択すると、その画像の**指定**は削除されます。

ステータス領域にプリントアイコンが表示されます。出荷時設定は 1 枚です。

4 **◀/▶ を押して画像を選択します。**
プリント数をそのままにするか、▲/▼ を押して変更します。
必要なプリント数が画像に適用されるまでこの手順を繰り返します。

5 OK ボタンを押します。Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

* 保管場所のすべての画像**を指定する**には、［全てプリント指定］をハイライト表示して OK ボタンを押してから、プリント数を指定します。［全てプリント指定］はクイックビューでは使用できません。保管場所内のすべての画像からプリント**指定**を削除するには、［プリント指定取消］をハイライト表示して、OK ボタンを押します。［プリント指定取消］はクイックビューでは使用できません。

指定された画像のプリント

指定された画像をコンピュータに転送すると、EasyShare ソフトウェアのプリント画面が表示されます。プリントについては、EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

コンピュータ、プリンタードック、PictBridge 対応プリンター、カードからのプリントについては、15 ページを参照してください。

注： 10 × 15 cm のプリントで最高の画質を得るためには、画質を [4.4 MP (3:2)] に設定してください。33 ページを参照してください。

E メールで送信する画像と動画の指定

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上で E メール用のアドレス帳を作成します。最大 32 個の E メールアドレスをカメラの内蔵メモリーにコピーします。詳しくは、EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

2. カメラでの画像や動画の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶ を押して画像や動画を選択します。

2 ▲/▼ を押して［E メール指定］ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

ステータス領域に E メールアイコン が表示されます。

3 ▲/▼ を押して E メールアドレスをハイライト表示し、OK ボタンを押します。

同じアドレスを使用して他の画像や動画**を指定する**には、◀/▶ を押して**選択**します。該当する画像が表示されたら OK ボタンを押します。

画像や動画を複数のアドレスに送信するには、アドレスごとに手順 3 を繰り返します。

選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

4 ▲/▼ を押して［終了］をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

ステータス領域に E メールアイコンが表示されます。

5 Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

3. 転送および E メール

指定された画像や動画をコンピュータに転送すると、E メール画面が表示され、指定したアドレスに画像や動画を送信することができます。詳しくは、EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの画像の指定

お気に入りの画像をカメラの内蔵メモリー内のお気に入りセクションに保存すると、友人や家族と共有することができます。

注： カメラからコンピュータに画像を転送する場合、お気に入りを含むすべての画像はフルサイズでコンピュータに保存されます。元の画像よりサイズの小さいお気に入りの画像はカメラに読み込まれ、画像を共有して楽しむことができます。

お気に入りの画像は次の 3 つの手順で簡単に共有できます。

1. お気に入りとして画像を指定します。	**1** Share（シェア／共有）ボタンを押します。◀/▶ を押して画像を選択します。 **2** ▲/▼ を押して［お気に入り指定］♥をハイライト表示し、OK ボタンを押します。 **画面にお気に入りアイコン♥が表示されます。指定を削除するにはもう一度 OK ボタンを押します。**

2. コンピュータに画像を転送します。	**1** すべての機能を利用するには、このカメラに付属の EasyShare ソフトウェアをインストールしてください（12 ページを参照）。 **2** USB ケーブル（14 ページを参照）または EasyShare ドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。 **初めて画像を転送する場合は、ソフトウェアが起動され、お気に入りの画像を選択することができます。この操作によって、画像がコンピュータに転送されます。元の画像よりサイズの小さいお気に入りの画像は、カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに読み込まれます。**
3. カメラでお気に入りを表示します。	**1** オート／お気に入りスイッチを［お気に入り］ に スライドします。 **2** ◀/▶ を押してお気に入りを**選択**します。

注： カメラに保管できるお気に入りの数には制限があります。EasyShare ソフトウェアの［カメラのお気に入り］を使用して、カメラのお気に入りセクションのサイズをカスタマイズします。お気に入りとして**指定**された動画は、EasyShare ソフトウェアの［お気に入り］フォルダに残ります。詳しくは、EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの再生設定の変更

お気に入りモードでMenu（メニュー）ボタンを押すと、オプション設定が表示されます。

	スライドショー（25ページ）		画像情報（29ページ）
	インデックス（10ページ）		すべてのお気に入りを消去（48ページ）
			設定メニュー（38ページ）

注： ［4.4 MP (3:2)］の画質で撮影された画像は、3:2の比率で表示され、液晶モニターの上部**が黒く**表示されます。

カメラからのすべてのお気に入りの消去

1 オート／お気に入りスイッチを［お気に入り］にスライドします。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

3 をハイライト表示してOKボタンを押します。

内蔵メモリーのお気に入りセクションに保管されているすべての画像が消去されます。お気に入りは、次回画像をコンピュータに転送したときに復元されます。

4 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

お気に入りをカメラに転送しないようにする

1 EasyShare ソフトウェアを起動します。［マイコレクション］タブをクリックします。

2 アルバムビューに進みます。

3 カメラの［カメラのお気に入りアルバム］をクリックします。

4 ［アルバムの消去］をクリックします。

次回画像をカメラからコンピュータに転送するときは、EasyShare ソフトウェアのカメラのお気に入りウィザード／アシスタントを使用してカメラのお気に入りアルバムを再作成するか、カメラのお気に入り機能をオフにします。

プリントおよび E メール送信するお気に入りの指定

1 オート／お気に入りスイッチを［お気に入り］ にスライドします。
◀/▶ を押して画像を選択します。

2 Share（シェア／共有）ボタンを押します。

3 ［プリント指定］ または［E メール指定］ をハイライト表示し、OK ボタンを押します。

注： このカメラで撮影したお気に入りは、10 × 15 cm までのプリントに適しています（本カメラ以外から取り込んだものは除く）。

5 トラブルシューティング（こんなときは？）

カメラに関して

<table>
<tr><th>現象</th><th>解決方法</th></tr>
<tr><td>カメラの電源がオンにならない</td><td rowspan="3">■ 装着されている電池の種類が適切であることを確認してください（65 ページ）。
■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください。</td></tr>
<tr><td>カメラの電源がオフにならず、レンズが引っ込まない</td></tr>
<tr><td>カメラのボタンとコントローラが機能しない</td></tr>
<tr><td>カメラの電源をオンにしてもレンズが前に出てこない、または引っ込まない</td><td>■ 電池が充電されていることを確認してください。
■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。
■ カメラがお気に入りモードになっていないことを確認してください。
■ 問題が解決しない場合は、Web サイトを参照してください（56 ページ）。</td></tr>
<tr><td>再生モードで、画像の代わりに青い画面または黒い画面が表示される</td><td>■ 画像をコンピュータに転送してください。
■ すべての画像をコンピュータに転送してください（12 ページ）。
■ もう一度画像を撮影してください。問題が解決しない場合は、画像保管場所を内蔵メモリーに変更してみてください（38 ページ）。</td></tr>
</table>

現象	解決方法
画像を撮影しても残り枚数が減らない	■ そのまま撮影を続けてください。カメラは正常に動作しています （カメラでは、各画像の撮影後に、画像サイズと内容に基づいた残りの撮影可能枚数が概算されます）。
画像の向きが正しくない	■ 縦横補正をオンにしてください（40 ページ）。
フラッシュが発光しない	■ フラッシュの設定を確認して、必要な場合は変更してください（20 ページ）。 **注：** フラッシュが発光しないモードもあります。
画像保管場所がほとんどまたは完全にいっぱいである	■ 画像をコンピュータに転送してください（12 ページ）。 ■ カードから画像を削除するか、新しいカードを装着してください。 ■ 画像保管場所を内蔵メモリーに変更してください（38 ページ）。
電池の寿命がすぐに切れる	■ 装着されている電池の種類が適切であることを確認してください（65 ページ）。 ■ 電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。65 ページを参照してください。 ■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください（1 ページ）。

現象	解決方法
画像を撮影できない	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。カメラがお気に入りモードになっていないことを確認してください。 ■ シャッターボタンを完全に押し下げてください（5 ページ）。 ■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください（1 ページ）。 ■ レディライトが緑色になってから、次の画像を撮影してください。 ■ メモリーがいっぱいです。画像をコンピュータに転送する（12 ページ）、画像を削除する（11 ページ）、画像保管場所を変更する、別のカードを挿入する、のいずれかを実行してください。
液晶モニターにエラーメッセージが表示される	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。 ■ メモリーカードを取り外してください。 ■ 電池を取り外してください。きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください（65 ページ）。 ■ 新しい電池、または充電済みの電池を装着してください（1 ページ）。 ■ 問題が解決しない場合は、Web サイトを参照してください（56 ページ）。
メモリーカードが認識されない、またはメモリーカードを挿入するとカメラがまったく動作しなくなる	■ カードが壊れている可能性があります。カメラに挿入されているカードをフォーマットしてください（41 ページ）。 ■ 別のメモリーカードを使用してください。

コンピュータ／接続に関して

現象	解決方法
コンピュータがカメラと通信しない	■ 充電済み電池を装着してください（1 ページ）。 ■ カメラの電源をオンにします。 ■ USB ケーブルがカメラとコンピュータに接続されていることを確認してください（14 ページ）。（EasyShare ドックを使用している場合は、すべてのケーブル接続を確認してください。カメラがドックにしっかりとセットされていることを確認してください）。 ■ EasyShare ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（12 ページ）。
画像がコンピュータに転送されない	■ EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。
スライドショーが外部ビデオ装置で実行されない	■ カメラのビデオ出力設定を調節してください（NTSC または PAL、40 ページ）。 ■ 外部装置の設定が正しいことを確認してください（装置の取扱説明書を参照）。

画質に関して

現象	解決方法
画像が鮮明でない	■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。レディライトが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影してください。 ■ レンズを拭いてください（66 ページ）。 ■ 被写体から 70 cm 以上離れている場合は、カメラがマクロモードになっていないことを確認してください。 ■ 安定した平らな場所にカメラを置くか、三脚を使用してください（特に、ズームを高倍率に設定している場合や光の弱い場所）。

現象	解決方法
画像が暗すぎるか、露出が不足している	■ 適度な明るさの場所にカメラを移動してください。 ■ 強制発光（20 ページ）を使用するか、被写体を後ろに光がない位置に移動してください。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（59 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。レディライトが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影してください。
画像が明るすぎる	■ 光の弱い場所にカメラを移動してください。 ■ フラッシュをオフにしてください（20 ページ）。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（59 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。レディライトが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影してください。 ■ オート、**シーンのカスタムモード**の場合は、露出補正を調整してください（30 ページ）。

ダイレクトプリント（PictBridge 対応プリンター）に関して

現象	解決方法
目的の画像が見つからない	■ カメラの電源をオンにします。カメラがお気に入りモードになっていないことを確認してください。 ■ ダイレクトプリントメニューを使用して、画像保管場所を変更してください。
ダイレクトプリントメニュー表示がオフになる	■ メニューを再表示するにはカメラの任意のボタンを押してください。
画像をプリントできない	■ カメラとプリンターの接続を確認してください（15 ページ）。 ■ プリンターとカメラの出滅を確認してください。
カメラまたはプリンターにエラーメッセージが表示される	■ 指示に従って問題を解決してください。

6 サポート情報

役に立つリンク集

カメラ

製品に関するサポート情報（FAQ、トラブルシューティング情報、修理の依頼など）	www.kodak.co.jp
最新のカメラ用ファームウェアとソフトウェアのダウンロード	www.kodak.co.jp

ソフトウェア

EasyShare ソフトウェアに関する情報	www.kodak.co.jp （または EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください）

その他

カメラ、ソフトウェア、アクセサリーなどに関するサポート情報	www.kodak.co.jp
Kodak EasyShare プリンタードックに関する情報	www.kodak.co.jp
カメラのユーザー登録	www.kodak.co.jp/go/register

電話によるデジタルサポートセンター

本製品に関するご質問は、デジタルサポートセンター担当者にお問い合わせください。

オーストラリア	1800 147 701
オーストリア	0179 567 357
ベルギー	02 713 14 45
ブラジル	0800 150000
カナダ	1 800 465 6325
中国	800 820 6027
デンマーク	3 848 71 30
アイルランド	01 407 3054
フィンランド	0800 1 17056
フランス	01 55 1740 77
ドイツ	069 5007 0035
ギリシア	00800 44140775
香港	800 901 514
インド	91 22 617 5823
イタリア	02 696 33452
日本	03 5540 9002
韓国	00798 631 0024

オランダ	020 346 9372
ニュージーランド	0800 440 786
ノルウェー	23 16 21 33
フィリピン	1 800 1 888 9600
ポーランド	00800 4411625
ポルトガル	021 415 4125
シンガポール	800 6363 036
スペイン	91 749 76 53
スウェーデン	08 587 704 21
スイス	01 838 53 51
台湾	0800 096 868
タイ	001 800 631 0017
トルコ	00800 448827073
英国	0870 243 0270
米国	1 800 235 6325
米国以外の地域	585 726 7260
国際有料電話番号	+44 131 458 6714
国際有料ファックス番号	+44 131 458 6962

最新の一覧については次のサイトをご覧ください。
www.kodak.com/US/en/digital/contacts/DAIInternationalContacts.shtml

7 付録

カメラの仕様

詳細な仕様については、www.kodak.co.jp を参照してください。

CCD — 1/2.5 型 CCD、縦横比 4:3

出力画像サイズ —

5.0 MP：2576 × 1932 画素
4.4 MP（3:2）：2576 × 1716 画素
4.0 MP：2304 × 1728 画素
3.1 MP：2048 × 1536 画素
1.8 MP：1552 × 1164 画素

液晶ディスプレイ — 2.5インチ ハイブリッド液晶モニター、960 × 240（23 万画素）

プレビュー（液晶モニター）— フレーム速度：24 fps

撮影レンズ — 3 倍光学ズーム、非球面全ガラス Schneider-Kreuznach レンズ、F2.8 ～ 4.8（35 mm フィルムカメラに相当：36 ～ 108 mm）

レンズの保護 — 内蔵

デジタルズーム — 2 つのズーム設定を組み合わた場合、**3.0** 倍から 12 倍まで 0.2 倍きざみで拡大できます（動画撮影ではサポートされていません）。

フォーカスシステム — TTL-AF：マルチ AF、**センター** AF

操作範囲：

60 cm ～無限遠（広角）
60 cm ～無限遠（望遠）
5 ～ 70 cm（広角マクロ）
40 ～ 70 cm（望遠マクロ）

測光方式 —

TTL-AE

マルチ測光、スポット測光、中央重点測光

露出補正 — ± 2.0 EV（1/3 EV ステップ）

シャッタースピード — 8 ～ 1/1400 秒（1/2 ～ 8 秒、長時間露出モードの場合）

ISO 感度 —

オート：80 ～ 160

マニュアル設定：ISO 80、100、200、400、800（800 は画質が 1.8 MP の場合にのみ使用可能）

フラッシュ —

ガイド番号 5.6
フォトセンサーを使用したオート発光

操作範囲：0.6 ～ **3.1m**（広角 **ISOオート**）0.6 ～ **2.2m**（望遠 **ISOオート**）

オート発光、強制発光、赤目軽減発光、オフ

撮影モード — オート、ポートレート、シーンモード、動画

連写モード — 最大画像枚数：5 枚、3 コマ／秒（最初の撮影でのみ AE、AF、AWB を実行）

動画撮影 —

VGA（640 × 480）、30 フレーム／秒
QVGA（320 × 240）、30 フレーム／秒

画像のファイルフォーマット —

静止画：EXIF 2.21（JPEG 圧縮）、ファイル構成 DCF
動画：QuickTime（CODEC MPEG4）

画像保管 — MMC または SD カード（別売）（SD ロゴは、SD Card Association の商標です）。

内蔵メモリー容量 — 32 MB 内蔵メモリー

クイックビュー — あり

動画出力 — NTSC または PAL

電源 — Kodak リチウムイオン充電式電池**(KLIC-7001)、Kodak 5V ACアダプター**

コンピュータとの通信 — USB 2.0（フルスピード、USB ケーブル、EasyShare カメラドックシリーズ 3、EasyShare プリンタードックシリーズ 3、フォトフレームドック 2 経由の PIMA 15740 プロトコル）

PictBridge 対応 — あり

セルフタイマー — 10 秒

サウンドフィードバック — 全てオン、シャッターのみ、全てオフ

ホワイトバランス — オート、昼光、晴天日陰、白熱灯、蛍光灯

自動スリープモード — あり

カラーモード — ヴィヴィッドカラー、ナチュラルカラー、シックカラー、白黒、セピア

日付写し込み — なし、YYYYMMDD、MMDDYYYY、DDMMYYYY

三脚ねじ穴 — 1/4 インチ

動作温度 — 0 ～ 40 ℃

サイズ — 94 mm × 56 mm × **19.5** mm（電源オフの場合）

重さ — 143 g（カードまたは電池を装着していない場合）

各モードでのフラッシュの設定

撮影モード	出荷時設定	使用可能な設定
オート	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
ポートレート	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
スポーツ	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
チャイルド	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
パーティー	赤目軽減発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
ビーチ	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
フラワー	オフ	オフ、強制発光
花火	オフ	オフ
スノー	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
逆光	強制発光	強制発光
マクロ	オフ	オフ、強制発光
夜景ポートレート	赤目軽減発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
遠景	オフ	オフ
夜景	オフ	オフ
マナー / 美術館	オフ	オフ
書類	オフ	強制発光、オフ

撮影モード	出荷時設定	使用可能な設定
セルフポートレート	赤目軽減発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
流し撮り	オフ	強制発光、オフ
キャンドルライト	オフ	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
サンセット	オート発光 *	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
カスタム	オート発光*	オート発光、オフ、強制発光、赤目軽減発光
動画	オフ	オフ
連写	オフ	オフ

* これらのモードでオート発光または赤目軽減発光に変更した場合は、設定を変更するまでデフォルト設定になります。

保管容量

下記の数値はおおよその値であり、ファイルサイズ、またはカードに他のファイルが含まれているかによって変わります。保管可能な画像／動画の枚数／時間は撮影状況によって異なります。

画像保管容量

	保管可能枚数				
	5.0 MP	4.4 MP（3:2）	4.0 MP	3.1 MP	1.8 MP
32 MB 内蔵メモリー	17	19	21	27	43
32 MB SD/MMC	19	22	24	30	48
64 MB SD/MMC	39	44	48	60	97
128 MB SD/MMC	79	88	97	121	195
256 MB SD/MMC	159	178	196	242	391
512 MB SD/MMC	319	356	392	485	783

動画保管容量

	動画の分数／秒数	
	VGA（640 × 480）	QVGA（ 320 × 240）
32 MB 内蔵メモリー	54秒	2分 19秒
32 MB SD/MMC	1分 01秒	2分 36秒
64 MB SD/MMC	2分 03秒	5分 13秒
128 MB SD/MMC	4分 07秒	10分 26秒
256 MB SD/MMC	8分 14秒	20分 53秒
512 MB SD/MMC	16分 28秒	41分 46秒

安全に関する重要事項

警告 :

本製品は分解しないでください。製品内部にお客様が修理可能な部品はありません。修理については、コダックデジタルサポートセンターにお問い合わせください。本製品を液体、湿気、極度の高温／低温にさらさないでください。Kodak AC アダプターおよび充電器は必ず屋内で使用してください。本ユーザーガイドで指定されている以外の制御、調整、または手順を行った場合、感電や電気的または機械的な危害を招く恐れがあります。液晶モニターが破損した場合は、ガラスや液体に触れないでください。コダックデジタルサポートセンターにご連絡ください。

本製品の使用

- Kodak 製品をご使用になる前に以下の指示をお読みになり、指示に従ってください。安全に関する基本的な注意事項には必ず従ってください。
- Kodak が推奨する付属アクセサリー（AC アダプターなど）以外のアクセサリーを使用すると、火事、感電、または負傷の危険性があります。
- 本製品を航空機内で使用する場合は、航空会社の指示に従ってください。

電池の安全な取り扱い

警告 :

電池を取り出した後は冷ましてください。熱くなっている場合があります。

- 電池の製造元が提供する警告および指示をお読みになり、必ず従ってください。
- 本製品での使用が認可されている電池を必ず使用してください。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。

- 硬貨などの金属に電池が触れないようにしてください。金属に触れると、ショート、放電、または液漏れが発生したり、熱くなったりすることがあります。
- 電池を分解したり、向きを逆にして装着しないでください。また、液体、湿気、火気、極度の高温／低温にさらさないでください。
- 長期間に渡って本製品を使用しない場合は、電池を取り外してください。万一、本製品内で電池が液漏れした場合は、**修理が必要になる場合があります。**
- 万一、電池の液漏れが皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- 不要になった電池は一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、コダック守谷物流センターへお送りください。
  コダック株式会社守谷物流センターバッテリーリサイクル係
  〒302-0106 茨城県守谷市緑 2-27-1
  Tel：0297-45-6150
- 充電式でない電池は充電しないでください。

電池については、www.kodak.co.jp を参照してください。

電池の寿命

Kodak リチウムイオン充電式電池 (**KLIC-7001**)：

1 回の充電につき 120 枚の画像を撮影可能。

CIPA 測定方法に基づく電池の寿命（128 MB SD カードを使用して、オートモードで撮影した場合のおおよその画像枚数）。実際の電池の寿命は、使い方によって異なる場合があります。

電池を長持ちさせる

- 次の操作を行うと電池が著しく消耗します。必要な場合以外はこれらの操作を行わないようにしてください。
  - 画像をカメラの液晶モニターで表示する（9 ページを参照）

- カメラの液晶モニターをビューファインダーとして使用する
（5 ページを参照）
- フラッシュを必要以上に使用する

■ 電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。電池をカメラに装着する前に、きれいな乾いた布で接触部分を拭いてください。

■ 気温が 5 ℃以下になると電池の効率が悪くなります。低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。冷たくなって使用できなくなった電池は捨てないでください。室温に戻せば再び使用できる場合があります。

節電機能

操作しない時間	カメラの動作	オンに戻す方法
1 **分**	**液晶モニターがオフになります。**	OK **ボタンを押します。**
10 **分**、5 **分**、3 **分**、**1分**（「**電源自動オフ**」（**39ページ**）**を参照**）	**自動的に電源がオフになります。**	**カメラの電源をオンにします。**

ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に添付されているソフトウェアとカメラのファームウェア（カメラ上で実行されているソフトウェア）の最新バージョンをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください。

その他の手入れとメンテナンス

■ 荒天時などでカメラ内部に水が入った場合は、カメラの電源をオフにし、バッテリーとカードを取り出してください。カメラを再び使用する前に、すべての部品を 24 時間以上乾かしてください。

- レンズまたはカメラの液晶モニターの埃や塵を軽く吹いて飛ばします。起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ティッシュでそっと拭きます。クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。
- 国によってはサービス契約があります。詳しくは、Kodak 製品取扱店に問い合わせてください。
- デジタルカメラの廃棄やリサイクル情報については、最寄りの自治体に問い合わせてください。米国内の場合は、Electronics Industry Alliance の Web サイト（www.eiae.org）または Kodak の Web サイト（www.kodak.com/go/v550support）を参照してください。

限定保証

Kodak は、Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリー（電池を除く）が購入日から一年間、素材および製造上に起因する不具合がないことを保証します。

購入日が明記された保証書または領収書のオリジナルは保管しておいてください。保証期間内の修理には、購入日の証明が必要になります。

限定保証の対象

この制限付きの保証は、Kodak デジタルカメラおよびアクセサリーを購入した地域においてのみ有効です。

保証期間中に Kodak EasyShare デジタルカメラおよびアクセサリーが正しく機能しない場合は、ここに記載した条件および制限付きで、それらを修理または交換いたします。この修理サービスには、必要な調整や交換部品に加え、労務費のすべてが含まれます。これらの修理または交換が唯一の保証手段となります。

修理に交換部品を使用する場合、それらの部品は再生品であったり、再製造された部品が含まれている可能性があります。製品全体を交換する必要のある場合は、再生品と交換する可能性もあります。

制限

保証による修理の要請には、購入日が明記されたKodak EasyShareデジタルカメラまたはアクセサリーの領収書のコピーなどの証明が必要になります（領収書のオリジナルは記録として必ず保管しておいてください）。

この保証は、デジタルカメラまたはアクセサリーに使用されている電池には適用されません。Kodakの管理の及ばない状況や、お客様がKodak EasyShareデジタルカメラおよびアクセサリーのユーザーガイドの操作指示に従わなかったために発生した問題は、この保証の対象外となります。

出荷による損傷、事故、改造、変更、認可されていない修理、誤用、乱用や、互換性のないアクセサリーや機器と併用した場合、Kodakの操作、保守、開梱の指示に従わなかった場合、Kodak提供の製品（アダプターやケーブル）を使用しなかった場合に生じた故障、または保証期間が過ぎてからのクレームには、この保証は適用されません。

Kodakは、この製品に対してこれ以外の明示的または黙示的な保証を行いません。法律によって黙示的な保証の除外が無効とされる場合、黙示保証の期間は購入日から一年間とします。

Kodakが負う唯一の責務は交換オプションです。Kodakは、原因にかかわらず、この製品の販売、購入、または使用から生じた特別、必然的または偶発的な損害に対しては一切責任を負いません。特別、必然的、または偶発的な損害（製品の購入、使用、故障のために発生した場合の収入または利益の損失、ダウンタイムの費用、機器が使用できないための損害、代替機器の費用、設備やサービス、顧客のクレームなどを含みますが、この限りではありません）に対する責任は、原因や書面または黙示的な保証の違反にかかわらず、明示的に否認し、これを除外します。

規格との適合

FCC 準拠および勧告

 Kodak EasyShare V550ズームデジタルカメラ

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ／オンにして調べます）、次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。1）受信アンテナの方向や位置を変える、2）装置と受信機の距離を離す、3）受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する、4）ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

オーストラリア C-Tick マーク

カナダ通信局声明文

通信局クラス B 準拠 — このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Observation des normes-Class B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

廃電気電子機器に関するラベル

EU（欧州連合）諸国では、本製品を無分別の都市ゴミとして廃棄しないでください。リサイクルプログラムに関する情報については、最寄りの自治体に問い合わせるか、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

英語訳： This is a Class B product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference from Information Technology Equipment (VCCI). If this is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.

MPEG-4

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

索引

き

く

け

こ

さ

や

よ

り

れ

ろ

Kodak EasyShare V550 Zoom デジタルカメラ　ユーザーガイド

追記・補足説明

フォトフレームドック2の使用方法

フォトフレームドック2にインサートを取り付け、電源を差込みカメラをセットします。

充電 (2ページ)：　カメラをセットすると自動的に電源がオンになり液晶モニターにEasyShareスタート画面が表示されます。
カメラの電源をオフにすると、充電が開始されます。

画像の転送 (13ページ)：　USBケーブルでコンピュータと接続し、転送ボタン　を押すと、コンピュータとの接続が行われます

Kodak EasyShareソフトを使用してカメラの画像をコンピューターに転送します。

終了後は電源オン/オフボタンを押すと充電が開始されます。

スライドショー (27ページ)：フォトフレームボタン　を押すと、スライドショーが開始されます。

スライドショー実行中にフォトフレームボタンを押すと、スライドショーは中止されます。

終了後は電源オン/オフボタンを押すと充電が開始されます。